

## 第6章 飯塚市公共交通の課題

---

前章までの飯塚市の現況及び上位・関連計画の整理、さらに各種意向調査結果と第1次計画の進捗状況を踏まえ、飯塚市の公共交通における課題を次のとおり整理しました。

### 課題1. 利用者の減少による民間バス赤字路線の増加

- 鉄道の利用者は増加傾向にありますが、路線バス利用者は6年間で2割程度減少しており、利用者減少に歯止めがかかっていません。
- 利用者の大幅な減少は、民間バス赤字路線を増加させ、路線縮小や廃止も考えられることから、利用促進策の検討が必要です。

### 課題2. コミュニティ交通の利用者の伸び悩み

- コミュニティ交通全体の利用者数は増加傾向であるものの、予約乗合タクシーの利用者はここ3年、頭打ち状態であり、予約乗合タクシーの利用ルールの周知に努め、潜在需要の喚起を図ることが課題となっています。

### 課題3. コミュニティ交通の運行・運営の効率化

- 民間が運行しない経路や地域を運行しており、採算ベースは困難ではありますが、利用者数の増加を図り、経費節減に取り組むことにより、運行・運営の効率化を図る必要があります。

### 課題4. 民間交通とコミュニティ交通の効果的・効率的な連携

- 鉄道や民間バス路線といった民間交通と、補完的な役割を担うコミュニティ交通の適切な役割分担により、効果的・効率的な連携を図る必要があります。

### 課題5. 利用者ニーズへの対応

- 持続可能な公共交通とするため、地域のニーズに対応し、利用者数の増加を図る必要があります。
- 高校生アンケートでは、通学における自動車依存の高さが窺えますが、利便性の悪さを理由に自動車を利用していることも見受けられるため、通学時間帯の公共交通の利便性向上が課題となっています。